

## 蒲生干潟周辺の塩分濃度 60

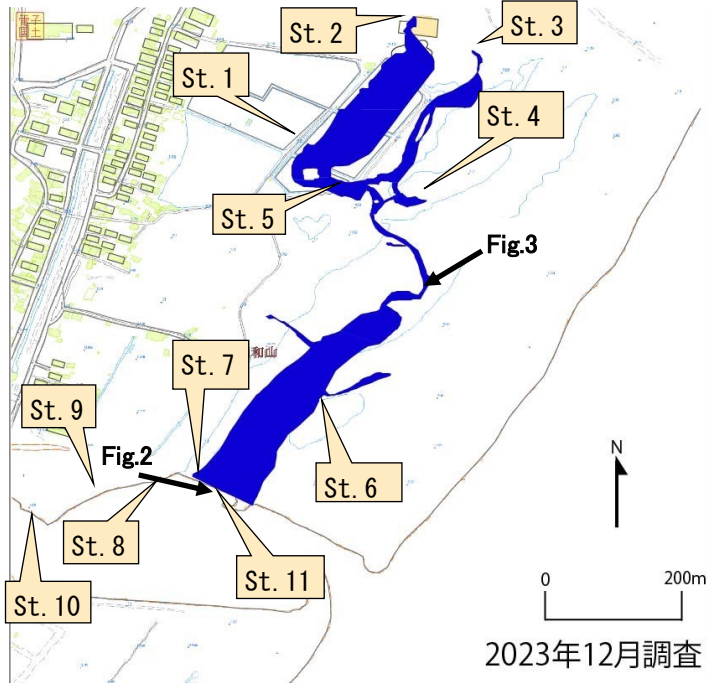


Fig.1 2023/12/20 採水点

Table.1 2023. 12月 塩分濃度(%)

採水点	2023 12/20	2023 11/29	増減	2022 12/23	増減
St. 1	0.6	1.5	-0.9	3.2	-2.6
St. 2	1.4	1.5	0.0	2.1	-0.6
St. 3	1.4	2.0	-0.6	2.5	-1.1
St. 4	1.4	2.0	-0.6	3.0	-1.6
St. 5	1.3	2.4	-1.1	3.2	-1.9
St. 6	2.3	3.0	-0.7	3.4	-1.1
St. 7	3.2	3.4	-0.2	3.1	0.1
St. 8	2.8	3.5	-0.7	2.7	0.1
St. 9	3.2	3.4	-0.2	2.3	0.9
St. 10	1.5	3.4	-1.9	2.1	-0.6
St. 11	3.2	1.6	1.6	2.9	0.3

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 導流堤から河口方向への水の流れ



Fig.3 南側潟湖と北側潟湖の接続部分付近

調査日時：2023年12月20日（水）13:15~14:30（干潮 15:58 潮位 76cm），天気：くもり

干潮に向かう時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2023.12月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2023. 11月，2022.12月）結果と比較した。

潟湖全体の水量は非常に少なかった。また干潮前のため、潟湖内から河口に向けて、さらに水の流出を確認した（Fig.2）。北側潟湖と南側潟湖の接続部分では、南潟湖方向へ強い流れがあった（Fig.3）。全体として、河口に向かい水が流れていた。塩分濃度は、先月と比較すると、河川に最も近いSt.11以外はすべて低い値を示した。潟湖内では、導流堤付近のSt.7が最も高い値を示した。また、昨年と比較すると、潟湖内のSt.7以外の地点すべてで、昨年の値を大きく下回った。

（沼尾和弥）